



温室効果ガス排出抑制に向けた SF₆ ガスを使用しない 300kV ガス遮断器（GCB）およびガス絶縁母線（GIB）の初採用について

2026 年 8 月 21 日

東京電力パワーグリッド株式会社

当社は、東京電力グループ大の目標である「2050 年におけるエネルギー供給由来の CO₂ 排出実質ゼロ」の達成に向け、温室効果ガスである六フッ化硫黄ガス（以下、「SF₆ ガス」）を使用しない SF₆ 代替ガス絶縁機器の適用を推進しており、2023 年 2 月に 72kV ガス絶縁開閉装置を適用して以降、SF₆ ガスを使用しない設備の導入拡大を進めてまいりました。

この度、当社の基幹系統へは初めてとなる 300kV ガス遮断器（GCB）を 2029 年度に、ガス絶縁母線（GIB）を 2030 年度に採用することを決定いたしましたので、お知らせします。

SF₆ ガスは優れた絶縁性能だけでなく、不燃性、不活性、無色、無臭などの特徴を持つ化学的に安定した気体であることから、全国の変電所におけるガス絶縁媒体に広く使用されています。

一方で、SF₆ ガスは地球温暖化係数^{※1}が大きいため、1997 年の気候変動枠組条約第 3 回締約国会議（COP3、京都会議）で排出削減対象ガスに指定されています。

そのため国内の電気事業では、電気事業連合会が定める自主行動計画^{※2}に基づき、設備点検時や設備撤去時における SF₆ ガスの排出抑制に取り組んでいます。

さらに 2016 年以降は当社が主体となり、産学一体の検討体制で SF₆ ガス代替検討会を開始し、SF₆ 代替ガスの調査・検討を行っております。この検討成果の 1 つである「SF₆ 代替技術を適用する際のガイドライン」では、ガスの安全性・環境適合性などの 7 つの要件を定めており、今回採用する GCB ならびに GIB は当該ガイドラインに適合しています。

当社は引き続き、SF₆ ガスの排出抑制を進めていくとともに、SF₆ ガスを使用しない設備の導入を拡大していくことで、温室効果ガス排出抑制に向けた取り組みを推進してまいります。

※1：大気中に漏えいした場合の地球温暖化への影響を二酸化炭素を基準として表した指標

※2：経済産業省 産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 化学物質政策小委員会 第 2 回フロン類対策ワーキンググループ 資料 3（2026 年 3 月 27 日開催）

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/hoan_shohi/chemicals/fluorocarbons/pdf/002_03_00.pdf

<別紙>

温室効果ガス排出抑制に向けた SF₆ ガスを使用しない 300kV ガス遮断器（GCB）およびガス絶縁母線（GIB）の初採用について

以上